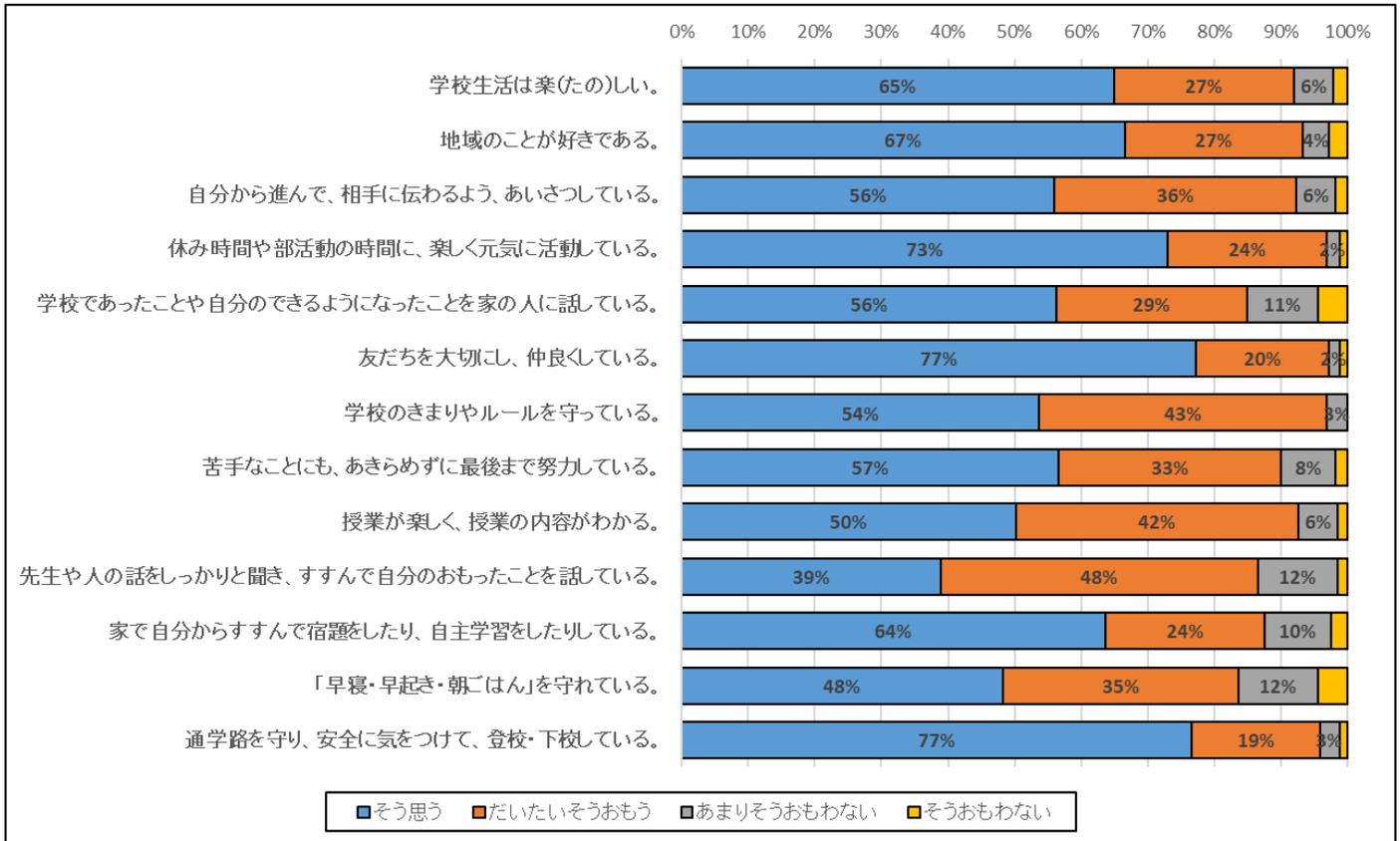


令和5年度 第1回 児童・保護者・地域アンケート集計結果のご報告

多くの皆様方にご回答いただき、ありがとうございました。集計結果についてご報告させていただきます。

【児童】



<考察>

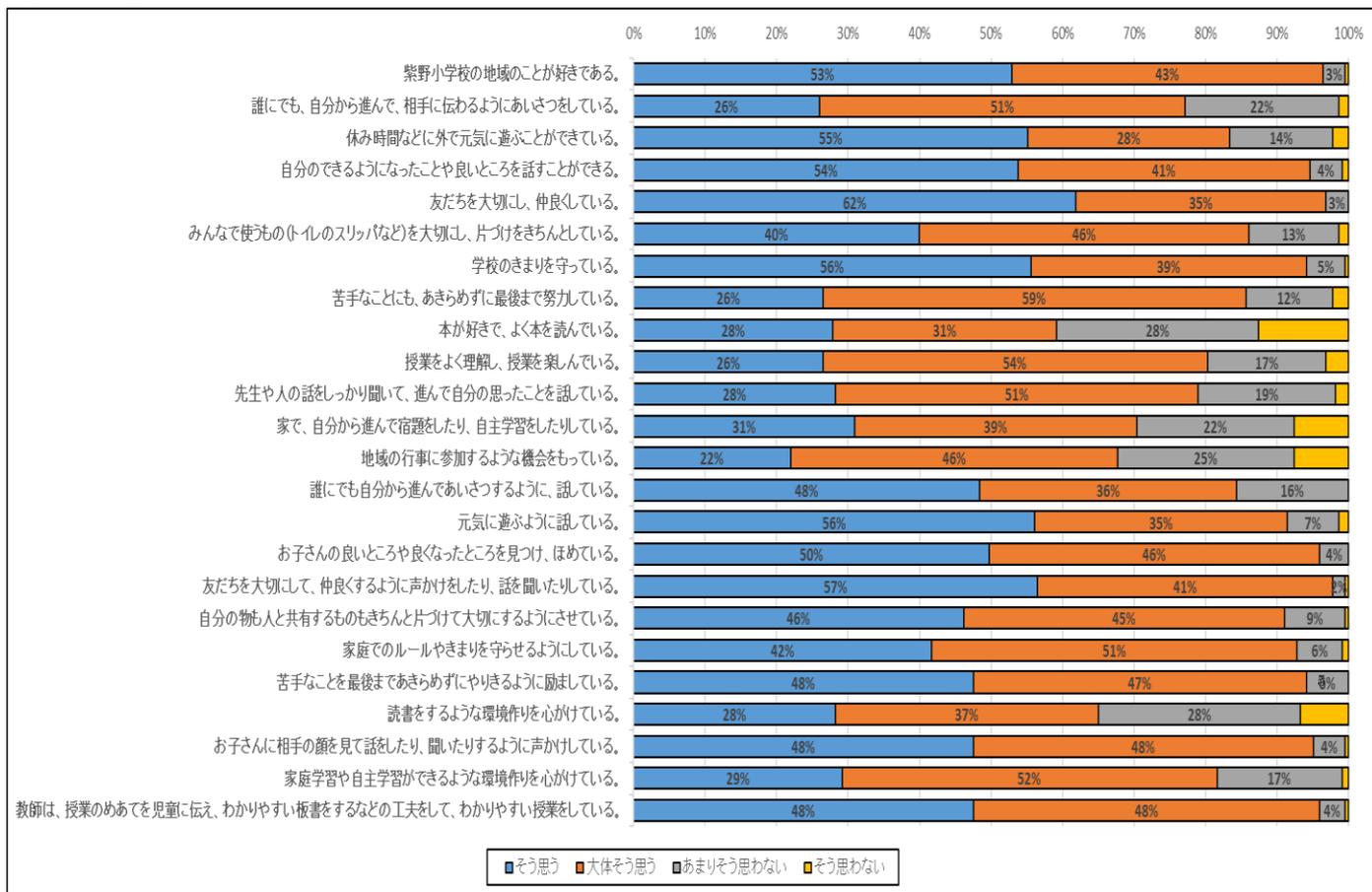
「そう思う、大体そう思う」を合わせて数値の高い項目は、「休み時間や部活動の時間に、楽しく元気に活動している(97%)」、「友だちを大切にし、仲良くしている(97%)」、「学校のきまりやルールを守っている(97%)」、「通学路を守り、安全に気をつけて登校・下校している(96%)」の項目です。子どもたちが友だちを大切にしながら、仲良く、楽しく、元気一杯活動している様子や学校のきまりやルール、通学路を守りながら安全に過ごしている様子が伺えます。

これらの傾向は、各家庭で大切にされている事柄と相似します。つまり、お家の方が、優しさや思いやり、和の心などを、子どもたちに呼びかけ育てられるのだと思います。子どもたちの姿は、家庭、学校の取組の調和だといえます。紫野小学校でも、日頃より、「人権についての学習」を大切にしています。互いのよさや頑張りを認め合い、互いに尊敬の拍手を送り合えるように、そして、人の「いのち、心、生き方」を徹底的に大切にできるように、今後とも働きかけてまいります。

今回のアンケートで、前回から大きく改善した項目は、「自分から進んで、相手に伝わるよう、あいさつしている(87%⇒92%)」です。家庭や地域・見守り隊の方々の声かけ、PTAによる「声かけ運動」、児童会による「あいさつ運動」、道徳や日々の学校での学び等の取組の成果の一つといえます。人と人との繋がりに関わる大事な事柄ですので、引き続き取組を進めたいと考えています。

また、あいさつのみならず、子どもたちが、苦手なことに諦めずに最後まで努力できるような支援や、「楽しくてよくわかる」と実感できるような授業が構築できるよう研鑽してまいります。

【保護者】



<考察>

保護者の皆様から見た子どもたちの姿として、「そう思う、大体そう思う」を合わせて数値の高い項目は、「紫野小学校の地域のことが好きである（96%）」、「自分のできるようになったことや良いところを話すことができる（95%）」、「友だちを大切に、仲良くしている（97%）」、「学校のきまりを守っている（95%）」の項目です。子どもたちが、「学校や地域のことが好き」と感じていることは、とても嬉しいことです。このことは、「子どもたちの笑顔が見たい」と尽力いただいている地域諸団体の方々等の願いや取組が、子どもたちへと確かに渡されていることの証でもあります。統合し、新たな紫野小学校が生まれて4年半。学校においても、「地域（人・もの・こと）」の素晴らしさを実感できる学習をさらに重ねていきたいと考えます。次代を担う子どもたちに、地域コミュニティの大切さを伝えていきたいと思えます。

ご家庭におかれて、「そう思う、大体そう思う」を合わせて数値の高い項目は、「友達を大切に、仲良くするように声かけをしたり、話を聞いたりしている（98%）」、「お子さんの良いところや良くなったところを見つけ、ほめている（96%）」、「お子さんに相手の顔を見て話したり、聞いたりするように声かけしている（96%）」、「苦手なことを最後まであきらめずにやりきるように励ましている（95%）」の項目です。日頃より、ご家庭において、友達の大切さや相手の顔を見ながらのコミュニケーションの大切さを伝えて頂いている様子が伺えます。さらに、子どもたちがより良く成長していくようにと、褒めたり励ましたりして頂いている様子も感じ取れます。

授業に関して、「教師は、授業のめあてを児童に伝え、わかりやすい板書をするなどの工夫をして、わかりやすい授業をしている（96%）」の項目が高い数値となっていました。引き続き、分かりやすい授業を展開していけるように努力をしていきたいと思えます。

以上の考察から、取組の上で留意しなければならないことも見え隠れしてきます。例えば、読書に関わることや自分から進んで課題に取り組む姿勢などが挙げられます。読書についての環境作りや自ら進んで学習に臨む意欲を引き出せるようにしたいと思います。

保護者や地域の皆様、今後とも紫野学校教育にご支援、ご協力を賜りますよう宜しくお願い致します。